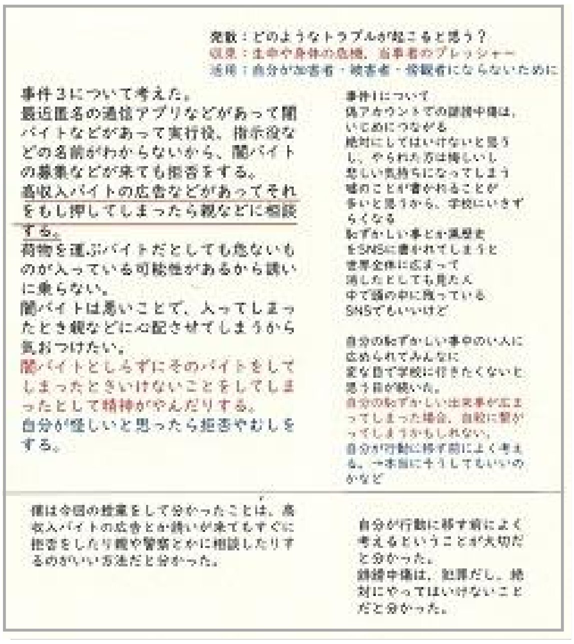
【いじめ防止一斉授業2024】

12月17日火曜日，徳島県内児童生徒６万５千人が一斉にいじめ防止の授業に取り組みました。

４校時の道徳，啓発動画の視聴後，富中では全学年で，ネットいじめ・トラブル防止を扱った教材『これほんまにいけるで？～未来の自分のために～』についてクラスごとに意見交換の時間を持ちました。

３つの事件（SNSでのなりすまし・不適切な画像・闇バイト）の問題点について確かめ，とるべき行動を考えるという学習活動では，富中生が日頃から取り組んでいるホワイトボードミーティング®の手法を活用し，タブレット上で意見交換する風景も見られました。



発散：どのようなトラブルが起こると思う？
収束：生命や身体の危機、当事者のプレッシャー
活用：自分が加害者・被害者・傍観者にならないために

事件3について考えた。
最近匿名の通信アプリなどがあって闇バイトなどがあって実行役、指示役などの名前がわからないから、闇バイトの募集などが来ても拒否をする。
高収入バイトの広告などがあってそれをもし押してしまったら親などに相談する。
荷物を運ぶバイトだとしても危ないものが入っている可能性があるから誘いに乗らない。
闇バイトは悪いことで、入ってしまったとき親などに心配させてしまうから気をつけたい。
闇バイトとしらずにそのバイトをしてしまったときいけないことをしてしまったとして精神がやんだりする。
自分が怪しいと思ったら拒否やむしをする。

事件1について
偽アカウントでの誹謗中傷は、いじめにつながる
絶対にしてはいけないと思うし、やられた方は悔しいし悲しい気持ちになってしまう
嘘のことが書かれることが多いと思うから、学校にいきずらくなる
恥ずかしい事とか黒歴史をSNSに書かれてしまうと世界全体に広まって消したとしても見た人の中で頭の中に残っている
SNSでもいいけど

自分の恥ずかしい事中のいい人に広められてみんなに変な目で学校に行きたくないと思う日が続いた。
自分の恥ずかしい出来事が広まってしまった場合、自殺に繋がってしまうかもしれない。
自分が行動に移す前によく考える。→本当にそうしてもいいのかなど

僕は今回の授業をして分かったことは、高収入バイトの広告とか誘いが来てもすぐに拒否をしたり親や警察とかに相談したりするのがいい方法だと分かった。

自分が行動に移す前によく考えるということが大切だと分かった。
誹謗中傷は、犯罪だし、絶対にやってはいけないことだと分かった。

自分自身が加害者・被害者・傍観者にならないためだけではなく,「すべての人が幸せな状態である社会を保つために」というウェルビーングへの意識は，この授業でもしっかりと発揮されていたようです。